

令和八年度

国語問題（L）

前期日程

〔注意〕

- 1 問題冊子および解答用冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはいけない。
- 2 受験番号は、解答用紙の受験番号欄（計八か所）に正確に記入すること。
- 3 問題冊子のページ数は、表紙をのぞき十六ページである。脱落している場合は
ただちに申し出ること。
- 4 解答用紙は四枚である。解答用紙をミシン目に従って切り離すこと。
- 5 解答は、解答用紙の指定されたところに記入すること。
- 6 問題冊子の余白は適宜下書きに使用してよい。
- 7 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 8 問題冊子は持ち帰ること。

令和8年度 一般選抜前期日程 国語 (L)

問題訂正

・問題冊子

11ページ 問四 1行目

(誤)・・・「今夜最大にびくつき、文字通り飛びあがった」・・・

(正)・・・「今夜最大にびくつき、文字どおり飛びあがった」・・・

I

次の文章は、「日本の美意識」という概念の意義を問うものです。筆者は、これに先立つ部分で、一般に「日本の美意識」とされる「幽玄」や「さび」について、藤原俊成や芭蕉らの歌論や俳論に即して検討したうえで、「幽玄」や「さび」とは、俊成や芭蕉ら「個人に特有の美意識に帰属するものであり、その意味内実は……(中略)……それぞれにことなっている」ために、「特定の個人や社会や時代をこえた、とくべつに「日本的」といわれるような美意識を想定することはできない」と述べています。これを読んで後の問いに答えなさい。なお出題の都合上、一部本文を省略・変更したところがあります。

著作権処理中のため、公開できません。

著作権処理中のため、公開できません。

著作権処理中のため、公開できません。

著作権処理中のため、公開できません。

問一 傍線部①について、ここで言う「循環」とはどのようなことか説明しなさい。

問二 傍線部②について、「非美的な特徴」とはどのような特徴か、本文で言う「美的質」との関係に留意して説明しなさい。

問三 傍線部③について、「根拠のない主張である」とされるのはなぜか、本文をふまえて説明しなさい。

問四 傍線部④について、なぜ「受け入れがたい」のか、「美的フレーミングの相対主義」の意味を明確にしたうえで説明しなさい。

Ⅱ

次の文章は、川上未映子の小説『夏物語』の一部です。舞台は二〇〇八年の東京で、一人暮らしをしている夏子のもとに、大阪に住む姉の卷子が、娘の緑子を連れて滞在しています。これを読んで後の問いに答えなさい。なお出題の都合上、一部本文を省略・改変したところがあります。

著作権処理中のため、公開できません。

著作権処理中のため、公開できません。

著作権処理中のため、公開できません。

著作権処理中のため、公開できません。

著作権処理中のため、公開できません。

問一 傍線部①について、夏子が「予想したことは裏切られるというジンクス」を二回繰り返して言っているのはなぜか、本文の内容をふまえて説明しなさい。

問二 傍線部②「緑子はびくつと体を震わせてまたもや中腰になり、わたしの टीーシャツのすそをきゅつとひっぱった」について、緑子がこのような動きをしたのはなぜか、本文の内容をふまえて説明しなさい。

問三 傍線部③「もつと陰惨な言葉を引いてみよう、なんかものすっこい恐ろしいのを、と緑子に提案した」について、夏子がこのような提案をしたのはなぜか、本文の内容をふまえて説明しなさい。

問四 傍線部④について、夏子と緑子が「今夜最大にびくつき、文字通り飛びあがった」のには、二人が突然耳にした物音の大きさ以上の理由が考えられる。そのような理由について、本文全体の内容をふまえて説明しなさい。

Ⅲ

次の文章は、和歌の指南について述べた手紙などを集めたものの一部です。これを読んで後の問いに答えなさい。

著作権処理中のため、公開できません。

著作権処理中のため、公開できません。

問一 傍線部①「てにをは紛らはし候ふ歌人の歌詠むと云ふことは先づ有るまじき事に候ふ」を現代語訳しなさい。

問二 傍線部②「花咲かばむかしを忍ぶ袖の露かかれとこそ人はうゑけん」を、題をふまえて現代語訳しなさい。

問三 傍線部③「西行……せられ候ふ」で、西行は何故そのようにしたのか、西行の心情もふまえて具体的に説明しなさい。

問四 傍線部④に示された「ほのぼのとあかしの浦」は、柿本人麻呂「ほのぼのとあかしの浦の朝霧に島隠れ行く舟をしぞ思ふ」(『古今和歌集』)を指す。これをふまえ、傍線部④「たとへば……歌に成るなり」について、書き手はどのように考えているのか、説明しなさい。

問五 傍線部⑤「とかく歌をば聞ゆる様に詠みたき物なり」を踏まえ、ここで考えられている理想の歌とはどのようなものか、具体的に説明しなさい。

IV

次の文章は、春秋時代、大国の楚に使者として赴いた齊の宰相晏嬰あんえいの豪胆で機知に富んだ才覚について述べたものです。これを読んで後の問いに答えなさい。設問の都合上、返り点や送り仮名を省略した箇所があります。

著作権処理中のため、公開できません。

著作権処理中のため、公開できません。

問一 傍線部①「使至犬国者従犬門入」は、どのようなことをいうのか、言外にこめた皮肉に着目しながら、わかりやすく説明しなさい。

問二 傍線部②「不当從此門入」を、すべて平仮名を用いて書き下し文に改めなさい。現代仮名遣いでもよい。

問三 傍線部③「張袂成帷、揮汗成雨」は、どのようなことをいうのか、比喩表現に着目しながら、わかりやすく説明しなさい。

問四 傍線部④「然則何為使汝」を、「然」の意味するところを明示しながら、現代語訳しなさい。

問五 傍線部⑤「嬰最不肖、故宜使楚耳」は、どのようなことをいうのか、言外にこめた皮肉に着目しながら、わかりやすく説明しなさい。